

仮想プライベートクラウドサービス利用の流れ（利用者向け）

No	項目	備考
1	仮想サーバに必要なスペックを確認する。	- 業者にサーバ構築を委託する場合は、業者と調整のうえ決定してください。
2	SSH 接続に必要な鍵ペアを作成する。	- 鍵の種類は「RSA」、ビット数は「4096 bit」で作成してください。 - 鍵は「公開鍵」と「秘密鍵」の2種類作成されます。 <u>公開鍵</u> はこの次の手順で送付しますが、 <u>秘密鍵</u> は利用者側で厳重に保管してください。
3	「仮想プライベートクラウド 仮想サーバ作成申請兼発注書」および No.2 で作成した「 <u>公開鍵</u> 」を 情報企画課 ICT 支援担当 宛てに送付する。	
4	情報企画課にて仮想サーバ作成後、接続に必要な情報が送付される。	- 仮想サーバは2営業日以内を目処に作成いたします（日時の指定はできません）。 - 仮想サーバが作成された時点から、月額利用料が発生いたします（月途中でも日割り等はいりません）。
5	送付された情報をもとに仮想サーバに SSH 接続する。	- この時点では学内からのみアクセス可能です。
6	送付された情報をもとに管理者アカウントでログインし、すみやかに初期パスワードを変更する。	
	（学外から仮想サーバに接続したい場合は、「インバウンド通信制限解除申請」を行う。）	- 申請方法等の詳細は、 こちらのページ をご確認ください。
7	仮想サーバ作成の翌月初より、月額利用料の請求書が送付される。	- 請求書は「ビットスター株式会社」（本サービスの運営を委託している業者）から申請兼発注書に記載された請求先宛てに郵送されます。
8	請求書の支払い手続きを行う。	